

都市計画審議会で提出された
意見等と市の考え方

令和3年度 第1回
寝屋川市都市計画審議会

案件 寝屋川市都市計画マスタープランの改定について

案件 寝屋川市都市計画マスタープランの改定について

資料1 改定都市計画マスタープラン（試案）について（概要）

箇所	御意見等	市の考え方
1/4 枚目 1 都市 計画マ スター プラン の位置 付けと役 割	P 1 の図はわかりやすく、特に問題ありませんが、図中で、「東部大阪都市計画区域マスタープラン（大阪府策定）」、「寝屋川市総合計画（寝屋川市策定）」というように、主体を表現すると、市民の理解も深まるようにも感じます。慣例的に、表記しないものでしたら、ご放念ください。	御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。
1/4 枚目 2 改定 の背景	寝屋川市が市民生活の将来を考えて行っている色々な取り組みを、今後も市民に向けて積極的に情報発信をしてください。	御意見を踏まえ、今後も積極的な情報発信に努めてまいります。
2/4 枚目 4 マス ター プラン の構成	市内を6つの地域に区分されているが、6コミセンとは異なる。市民生活や地域コミュニティは小学校単位広くはコミセン単位で構成される現状。改めて当該プランでの区域割の根拠と、コミセン区域との差異は？	都市計画マスタープランにおける地域区分の設定については、市内の4つの鉄道駅の配置、地勢的条件や用途地域指定等によるこれまでのまちなみ形成過程等の地域特性等を踏まえ、国道170号、主要地方道京都守口線、主要地方道八尾枚方線等の幹線道路を中心として区分したものであり、コミセン区域とは異なるものです。
4/4 枚目 6 主な 改定内容	「府立高専の移転が予定」とあるが、担当所管、担当者は決まっているのですか。将来都市構造には	大阪府立大学工業高等専門学校跡地については、2軸化構想のポテンシャルエリアの1つと

<p>(2) 将来 都市構造</p>	<p>欠かせない場所です。</p>	<p>して位置付けていることから、 2軸化事業本部を中心として、 必要に応じて大阪府と協議等 を行うこととなります。</p>
<p>4/4 枚目 6 主な 改定内容 (3) 分野 別方針</p>	<p>安全・安心まちづくり 地域防災力の強化には、地域協 働協議会の中に「安心・安全部会」 が24小学校別に設置されていま すので活用を。</p>	<p>御意見を踏まえ、引き続き、今 後のまちづくりの中で検討して まいります。</p>

案件 寝屋川市都市計画マスタープランの改定について

資料2 寝屋川市都市計画マスタープラン（序章～第2章）（試案）

箇所	御意見等	市の考え方
<p>序章 都 市計画マ スタープ ランにつ いて) P 1</p>	<p>「都市計画マスタープラン」は市の都市計画に関する基本的な方針であり、個別の都市計画の決定・変更を行う際の指針となることですが、具体的にどのようにチェック（各計画がマスタープランに則しているかどうか）がなされるのでしょうか。</p>	<p>都市計画の決定・変更を行う際に、府の協議や庁内での検討等において、当該都市計画が都市計画マスタープランの内容に即しているか等の確認がなされるものです。</p>
<p>P 1</p>	<p>「即して」「即する」は「則して」「則する」のほうが良いのでは。</p>	<p>都市計画マスタープランの根拠となる都市計画法第18条の2において、「即し」「即した」という用語が使われていることから、「即して」「即する」としております。</p>
<p>P 1</p>	<p>立地適正化計画の説明に用いる「※」は、語句説明に用いるマークと同じものであるので、変えてはどうか？</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>
<p>P 2</p>	<p>「本市が定める都市計画の指針」の「本市が定める」はなくても良いのでは。</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>
<p>P 3</p>	<p>「…、パブリック・コメント、公聴会の実施等により、今後のまちづくりの方向性等にその内容を反映しています。」を「…パブリック・コメントや公聴会を実施し、今後のまちづくりの方向性等にその内</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>

	容を反映しています。」に改めた方が分かりやすいのでは。	
P 3, 4	<p>「寝屋川市人口ビジョン」(平成28年2月)から</p> <p>新たな社人研のデータ等を入れた表となっており、「「寝屋川市人口ビジョン」(平成28年2月)による推計から、」という文章はおかしいのではないか(第六次寝屋川市総合計画の推計)。</p>	<p>寝屋川市の将来推計人口の図表(P4)において、社人研のデータについては参考として記載したものであり、都市計画マスタープランの目標年次(令和13年度)の将来人口については、寝屋川市人口ビジョンの推計213,451人を踏まえ、約22万人としていることから、このような表現としております。</p>
第1章 現況と課題 P 7	<p>他部門との連携が必要と思いますが、若年層の人口増につながるよう、出産・育児・教育に配慮した施策をぜひご検討ください。</p>	<p>上位計画の第六次総合計画で掲げる市の将来像の「新たな価値を創り、選ばれるまち 寝屋川」の実現に向け、今後も若年層の人口増につながる施策を検討してまいります。</p>
P 7	<p>2010年と2015年で、数値と棒グラフの高さがマッチしていない(2015年の方が棒が高い)ように思います。</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>
P10	<p>ハザードマップに掲載されている「浸水継続時間」に関する説明と図を掲載してはいかがでしょうか。</p> <p>将来目標として掲げられている「③強靱で安全・安心なまち」を目指すには、浸水発生後の生活や活動に長時間支障をきたすことを示</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>

	<p>す「浸水継続時間」の説明も重要と考えました。(命を守る垂直避難だけでなく、早期の水平避難も重要であるため。)</p>	
P 10, 11	<p>本市ハザードマップは本年度改正予定。最新マップと差替えられるのか？</p>	<p>P 10・11 の図については、ハザードマップの改正に併せ、修正を予定しております。</p>
P 14	<p>P 14 (4) 公共施設の集約・再編に記載があるような、ICT や AI の活用、企業の DX の推進など、寝屋川市は先進的に取り組んでおられるように思います。</p> <p>今後、公共施設だけでなく、公共交通機関や民間の業務、医療等でも推進するような方向性、またスマートシティのような発想で市内在住・在職者及び企業の利便性、快適性の向上を目指すような方向性は、マスタープランでは特にございませんでしょうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、スマートシティ等の記載について検討してまいります。</p>
P 14	<p>主な課題に市民アンケート内の「まちづくりの課題や問題点」のワースト 5 に入る項目はせめて記載すべき。抜けている課題 2 つは、交通渋滞や道路の未整備・公共交通の不便。</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>
P 14	<p>企業、工場の立地に関して、本市での住工混在問題の有無と、有るのなら課題として記載すべきと思料するが。</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>

<p>P 15</p>	<p>防災力に関する課題。第六次総合計画には災害時の緊急車両や物資運搬を行うための幹線道路の通行が困難だと指摘あり。両計画の整合性を図るために記載すべき。具体施策には無電柱化の推進を要望します。</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>
<p>P 15</p>	<p>僭越ながら、全体的に、よく吟味されて、現状に即した視点から改定されているように思います。また、大変分かりやすくまとめられているように感じます。</p> <p>P 15 の「(7) 豊かな自然環境及び歴史的・文化的資源の保全・活用」なども、しっかり項目として掲げられているのは大事なことだと思います。古墳などの古いものだけでなく、明治、昭和期の建築資源なども、これからますます地域資源としての価値が高まっていくものだと思いますので、そうした近代ものなど、比較的「新しい」ものについての情報も、市民に届けば、町への愛着がより高まるものと思います。</p>	<p>御意見を踏まえ、第 3 章地域別構想においても、地域資源の保全・活用について検討してまいります。</p>
<p>P 15</p>	<p>ポストコロナを見据えたまちづくり</p> <p>第六次寝屋川市総合計画では、コロナ後の社会というより、コロナ禍の社会について書かれている</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>

	と理解している。まだ収まる様子がない中で、ポストコロナと書いてしまうのはどうなのか。	
P 16	<p>第六次総合計画では各施策に関連するSDGs目標を選別して掲載しているが本プランでは具体的なゴールを示すのか？</p> <p>また、17の各ゴールの進捗状況の管理・測定はどの様に行うのか？</p>	<p>都市計画マスタープランは、長期的なまちづくりの方針を示すものであり、関連する目標は特定せず、SDGsの17のゴール（目標）に幅広く貢献していくこととしています。</p> <p>SDGs達成貢献の進捗確認等については、都市計画マスタープランの進捗管理の中で必要に応じて行ってまいります。</p>
P 17	<p>約10年前の前回改定時は6回のワークショップと市民意識調査で丁寧に市民から課題や意見を集約された。今回はアンケートのみ。前回行程通りだとコロナ禍前からワークショップが開催されて然るべき。なぜワークショップを開催されなかったのか？検討はされたのか？</p>	<p>今回の改定は、委託により概ね2か年で行うこととしており、上位計画の総合計画の計画期間の見直しに伴い、令和2年度・3年度を中心として改定に向けた取組を進めております。</p> <p>当初、ワークショップの開催を検討しておりましたが、新型コロナウイルス感染状況の拡大を受け、市民アンケート調査等により、広く意見の把握を行うこととしたものです。</p>
P 22	<p>将来目標について記載されていますが、すべて現在進行形で書かれているため、既に着手されて進行中のようにも読み取れました。もし、未着手の内容が記載されて</p>	<p>まちづくりの将来目標に記載の【あるべき・目指すべき未来】の内容については、将来の目指すまちの姿を具体的にイメージし、その実現に向けて効果的に</p>

	<p>いる場合、誤解を招く可能性があると感じます。読み取り時に誤解を招かないように、補足説明があると良いと思いました。</p>	<p>取り組んでいくため、概ね10年後の未来の姿をお示しする、という観点で記載をしており、御意見を踏まえ、補足説明を記載してまいります。</p>
P 22	<p>「①2つの鉄道を軸とした魅力あふれるまち」の5つ目の○について、「市内に存在する淀川、…」の「市内に存在する」を削除してもよいのでは。</p>	<p>御指摘を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>
P 23	<p>「主体となって」と「救助する」の部分</p> <p>第六次寝屋川市総合計画では、あるべき・目指すべき未来で「中心となって」という言葉が使われている。意味的には同じかもしれないが、「主体となって」よりやわらかい感じを受ける。避難所の運営等は進められており、共助で自治会・ご近所で助けあうのも理解できるが、「救助する」だと意味が広すぎて、地域住民の負担が大きすぎるように感じる。</p>	<p>御指摘を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>
P 24	<p>将来都市構造図には議会の中で事あるごとに指摘される寝屋川市駅と寝屋川公園駅を結ぶライン（具体にはバス路線）が未記載、どの様にお考えか？</p>	<p>バス路線については、P36に「将来ネットワークのイメージ」（市地域公共交通網形成計画から引用）を記載しております。</p> <p>また、寝屋川市駅と寝屋川公園駅を結ぶライン（バス路線）については、バス事業者との協議</p>

		を踏まえ、今後のまちづくりの中で検討してまいります。
P 24, 26	<p>“点在”する「みどりの拠点」だけでなく、「ネットワークを形成するみどり」も寝屋川市にとっては重要な資源ですので、図と共に分かりやすく示していただいたのは大事なことだと思います。寝屋川市には、個人所有のものも含めて、緑は結構あるところもあります。市民としても「グリーンインフラ」の大切さをもっと共有できるといいと思います。また、水路（多くはグリーンインフラも伴う）も、寝屋川においては貴重な地域資源だと考えます。これからも、寝屋川の住宅街の風景を形成する一つの要素として、大切にしていけるべきものと考えますので、そういった意識も共有できると有り難いです。</p>	御意見を踏まえ、第3章地域別構想においても、地域資源の保全・活用について検討してまいります。
P 25	<p>大阪府立大学工業高等専門学校の移転について記載がある。跡地利用の（優先権）優先度が本市にはあるのか？あればどのような計画があるのか？また購入等の意思表示時期はいつ頃なのか？</p>	大阪府立大学工業高等専門学校の移転後の跡地利用の責任主体は大阪府であり、令和8年度以降の移転が予定されていることから、情報共有を図り、必要に応じて協議等を行ってまいります。
P 25	<p>「検討を行います。」 既に動き始めている。検討では遅い。</p>	「寝屋二丁目・寝屋川公園地区」には、令和3年7月にまちづくり協議会が組織されたところ

	<p>星田駅周辺については、この後も検討という表現になっている。</p>	<p>であり、土地区画整理の事業化に向け、より具体的なまちづくりの検討を進めていくことから、このような表現にしております。</p> <p>また、緑町周辺地区についても、引き続き関係機関の動向等を踏まえる必要があること等から、このような表現としております。</p>
P 26	<p>広域避難場所、一時避難場所等だけでなく、防災公園の整備を加えるのは難しいか。</p>	<p>「災害時には、広域避難場所、一時避難場所等として、都市防災機能の強化を図ります。」という記載の中で、地震災害時の復旧拠点や防災拠点等の防災公園の可能性も含めた表現としております。</p>
P 28	<p>「住宅地と工業地が混在している地域については、互いに共存～」を、以下の考えにより「住宅地と工業地が混在している地域については、良好な操業環境保持に努め、互いに共存～」に改めてはどうか。</p> <p>【考え】</p> <p>クレーム等が発生すると、どうしても立場が弱くなりがちな事業者の操業環境を守り、市内事業者が外部流出することを防ぐことにつなげたいと考え、上記のような意味を持つ追記を期待します。</p>	<p>御意見を踏まえ、修正を検討してまいります。</p>

<p>P 28, 29</p>	<p>商業・業務、都市居住、沿道サービスの各ゾーンおよび都市機能集積エリアにおいて、商業・業務機能、商業・業務施設、商業施設などの記述が多く、そのような機能が求められているのだと思います。</p> <p>しかし高齢者や子育て世帯を始めとする居住者はそればかりでなく、街中での遊歩道や緑地（公園）の整備などもコンパクトシティに求められる要素だと考えられると思います。</p> <p>街中で過ごしやすい、ゆとりがある、回遊性が高い、街中での滞在時間が長いなどの都市機能も必要ではないかと思います。</p>	<p>御意見を踏まえ、「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」等の記載について検討してまいります。</p>
<p>P 28-31</p>	<p>P 25 の（ア）都市核では記載がある医療・福祉は、生活利便機能や都市機能に含まれると解釈できると思います。ただし、高齢者や子育て世代の居住者にとっては駅周辺エリアに医療・福祉などの機能集積も明確になっている方が安心なのではないでしょうか。</p> <p>上記の”商業・業務”の誘導と同様に、大規模医療機関等も含めた医療・福祉の誘導を期待します。</p>	<p>駅周辺エリアへの医療・福祉等の機能集積については、「市立地適正化計画」の中で具体的に位置付けをしております（寝屋川市駅周辺地区における「病院」「子育て支援施設」等、寝屋川公園駅周辺地区における「病院」等）。</p> <p>なお、寝屋川公園駅周辺地区には、令和3年7月に「大阪複十字病院」が開院されたところです。</p>
<p>P 29</p>	<p>星田駅が所在する交野市と連携し、市の境を越えた一体感のある</p>	<p>御意見を踏まえ、今後も関係機関と連携し、一体感のあるま</p>

	街づくりとなることを期待します。	ちづくりに向けて取り組んでまいります。
P 30	<p>「駅前庁舎として取得を検討する。」</p> <p>現時点の表現は難しいところもあるが、正式な改定となるときは、その時の状況により文言を変更するというのでしょうか。</p>	御意見のとおり、本試案における表現につきましては、今後の状況により、文言等の一部変更を予定しています。
P 31	<p>府立高専の転出に伴う、学校跡地の将来の土地利用が気になりました。</p> <p>土地所有者が大阪府であれば、府と寝屋川市で密に協議・連携していただき、寝屋川市民にとって価値の高い土地利用が行われるよう、検討をお願いしたいです。</p>	御意見を踏まえ、今後のまちづくりの中で検討してまいります。
P 33	各都市計画道路の整備については他の関連機関（大阪府等）との連携、調整をしっかりと行っていただき、ちぐはぐな整備とならないようにしていただきたい。	都市計画道路の整備については、今後も関係機関と連携を密にし、取り組んでまいります。
P 33	渋滞が慢性化して市民生活の支障になっている道路の渋滞解消に向けた整備推進を希望します。	御意見を踏まえ、引き続き、今後のまちづくりの中で検討してまいります。

案件 寝屋川市都市計画マスタープランの改定について

資料4 都市計画マスタープランの改定に係る追加アンケート調査結果の概要

箇所	御意見等	市の考え方
資料4	今後も、世代・性別・職業等を問わず、市民の意見を広く反映できるよう、工夫していただきたいと思えます。	御意見を踏まえ、今後もパブリック・コメント等により、幅広く市民意見の反映に努めてまいります。
資料4	まちづくりの課題や問題点から検討することが大切である。また、街灯が少なく夜になると怖いとあるが、自治会には街灯補助があるので、活用すべきである。	御意見を踏まえ、今後のまちづくりの中で検討してまいります。